PROSPORTS KEIRIN WEEKLY MAGAZINE

> 史、島川将貴らが一丸となって強 湧也を筆頭に、小倉竜二、阿竹智 永泰斗ら全国各地から健脚が集 新田祐大、岩本俊介、小林泰正、嘉 り杯争覇戦」は、7月4日~7日 開設74周年小松島記念「阿波おど を制すのは果たして誰なのか? 豪を迎え撃つ。後期のG3第一弾 結。地元勢はスピードスター犬伏 郎のSS班3名をはじめとして の日程で開催される。今シリーズ は清水裕友、深谷知広、佐藤慎太

会は、 のは地元勢だ。6~7周年の5大

上、決勝にコマを進めていて、69 71周年は優勝もゲットしてい いずれも地元勢が3名以

実ぶりを猛アピールしていたし、 高松宮記念杯の東一次予選1で 位に躍り出ても不思議ではない。 稼ぎ。仕掛けがツボにはまれば首 していて、今年は早くも27勝の荒 ①□⑦①着、優参は成らずも4勝 星を稼いでいる。高松宮記念杯① 深谷知広は、快調なペースで勝ち ダービー①①①❷着は今年の充 南関では岩本俊介も動きがいい。 6年ぶりにSS班に復帰した

深谷 知広

が戻せれば優勝争いを賑わす。

S1 酒井雄多

て中心視した。 壊力満点だし、番手戦もそつなく 躍動感にあふれる自力攻撃は破 りタイムは11秒2と優秀だった。 ちパターンながら、高松宮記念杯 こなす。優勝に最も近い存在とみ の桑原大に差されたものの、上が の西二次予選は逃げて2着。後続

> ナップ。先導役を務めるのは快速 竹智史、島川将貴と充実のライン る。今年も犬伏湧也、小倉竜二、阿

援競輪・大阪・関西万博協賛・

令和6年能登半島地震復興支

この大会で最も活躍している 調に問題がなければ、百戦錬磨の 杯で落車したのは気になるが、体 るのは重鎮の小倉だ。高松宮記念 走を演じられる状態にある。束ね った。地元勢を上位独占に導く競 掛かったスピードは素晴らしか 先行しているし、西準決も脇本雄 をまくれなかったとはいえ、襲い



感じさせた。予選の3走はすべて 杯②④①③⑥着の動きは復調を 場所が続いていたが、高松宮記念 を誇る犬伏だ。最近は一息不足の

次予選で落車していて、体調に ンツーを決めている。ただ、恵 は、深谷のまくりに続いて南関 抹の不安が残る。

った。一発の魅力を秘めている を決めて2着以下を7車身壬 は、上がり11秒フラの超速まく らずで、高松宮記念杯の最終 は乗れていないが、快速は相恋 松宮記念杯①②图④①着。決勝 後は6月前橋記念10⑦①着、 を余儀なくされた新田だが、復 先頭員早期追い抜きのため、具 負が期待できる。全日本選抜で 訓とそろった福島トリオも好

いる。勢いがあるので、レース に高松宮記念杯も決勝に乗っ では4連勝でG3初Vを達成 初優参を果たすと、6月前橋記 にも食指が動く。ダービーでC 今年は飛躍を遂げた小林寿

キングは第4位につけている。好

成績を修めていて、獲得賞金ラン

が、今年は年頭から高いレベルの

ときわ光る。

て優参を果たしている実績はひ を進めよう。68周年から6年続け 経験値を活かして優位にレース

ースで決勝を外した清水裕友だ

残念ながら今年初めてビッグレ

高松宮記念杯は西準決で4着。

泰斗。だが、底力はあるので、調 流れに乗れるようだと怖い。 た時のような脚勢ではない喜 最近は4月川崎記念で優勝 新田祐大、佐藤慎太郎、

	0	調	勝し	スの	って	記 東 念	G 泰 ´ 1 正	る。十切	く終り日	変わ	膀に高	復 長帰 欠	で			こ 果 関 ニュワ								
				能	支	・万	協	阿河	皮お	تع	り杯	争覇	戦	出場	景 三	予定選	手		 202	4年	06月20日	現在のデ	ータで	です。
級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点	級班	氏 名	登録地	期別	競走得点
SS	佐藤慎太郎	福島	78期	115.11	S 1	大石剣士	静岡	109期	101.52	S2	安部達也	埼玉	83期	93.27	S2	北村信明	徳島	93 期	103.29	S 2	渡邉豪大	福岡	107期	95.82
SS	深谷知広	静岡	96期	116.88	S 1	島川将貴	徳島	109期	108.33	S2	庄子信弘	宮城	84期	97.00	S2	佐藤雅春	宮城	94期	100.21	S2	堀僚介	大阪	109期	90.00
SS	清水裕友	山口	105期	117.92	S1	佐々木豪	愛媛	109期	107.15	S2	西岡正一	和歌山	84期	99.73	S2	山中秀将	千葉	95期	100.31	S2	野口裕史	千葉	111期	105.97
S1	小倉竜二	徳島	77期	112.60	S 1	林大悟	福岡	109期	102.42	S2	吉田敏洋	愛知	85期	99.71	S2	二藤元太	静岡	95期	98.11	S2	小森貴大	福井	111期	102.39
S1	諸橋愛	新潟	79 期	113.90	S1	小林泰正	群馬	113期	113.56	S2	筒井敦史	岡山	85期	105.33	S2	佐藤博紀	岩手	96期	104.65	S2	奥村諭志	岡山	111期	97.74
S1	佐々木雄一	福島	83 期	106.58	S 1	福永大智	大阪	113期	108.06	S2	高原仁志	徳島	85期	102.77	S2	東龍之介	神奈川	96期	106.90	S2		徳島	113期	
S1	大槻寛徳	宮城	85 期	108.87	S1	宮本隼輔	山口	113 期	91.81	S2	青森伸也	福島	87期	101.46	S2	中村健志	熊本	96期	91.62	S2	山口敦也	佐賀	113 期	
S1	湊聖二	徳島	86期	104.64	S1	嘉永泰斗	熊本	113 期	111.36	S2	金成和幸	福島	88期	97.94	S2	山口翼	茨城	98期	95.57	S2	上野優太	熊本	113期	
S1	佐藤友和	岩手	88期	109.83	S1	佐藤礼文	茨城	115 期	106.56	S2	福田知也	神奈川	88期	106.46	S2	志村龍己	山梨	98期	98.17	S2	後藤悠	岩手	115期	98.48
S1	渡部幸訓	福島	89期	110.63	S1	橋本優己	岐阜	117期	104.48	S2		東京	88期	102.75	S2	相澤政宏	宮城	99期	96.93	S2	外田心斗	愛媛	115期	98.10
S1	山田英明	佐賀	89期	113.30	S1	貴志修己	和歌山	117期	102.64	S2	田中誠	福岡	89期	106.66	S2	泉慶輔	宮城	99期	101.68	S2	松尾勇吾	熊本	115期	98.91
S1	新田祐大	福島	90 期	115.33	S1	志田龍星	岐阜	119期	108.93	S2	高塩譲次	栃木	90期	92.19	S2	石川裕二	茨城	99期	100.54	S2	上遠野拓馬	宮城	119期	96.04
S1	村田雅一	兵庫	90期	106.03	S1	犬伏湧也	徳島	119期	112.21	S2	鰐淵圭佑	群馬	90期	99.64	S2	今藤康裕	岐阜	99期	100.38	S2	中島詩音	山梨	119期	
51	阿竹智史	徳島	90期	109.55	S1	大川剛	青森	121期	103.15	S2		山梨	90期	92.36	S2	坂本修一	岡山	99期	99.00	S2	木村佑来	宮城	119期	96.35
51	鈴木裕	千葉	92期	108.67	S2	島野浩司	愛知	62期	85.40		石川雅望	群馬	91期	95.23	S2	佐々木吉徳	秋田	100期	93.88	S2	五十嵐綾	福島	121期	94.67
S1	岩本俊介	千葉	94期	114.89	S2	紺野哲也	宮城	69期	97.28		高橋和也	愛知	91期	103.00	S2	笠松将太	埼玉	100期	94.54	S2	山口多聞	埼玉	121期	103.33
51	藤田勝也	和歌山	94期	102.70	S2	澤田義和	兵庫	69期	103.35	S2	笹倉慎也	富山	91期	89.80	S2	金子幸央	栃木	101期	105.44	S2	安彦統賀	埼玉	121期	93.41
S1	長島大介	栃木	96期	107.16	S2	江守昇	千葉	73 期	96.52		小堺浩二	石川	91期	101.62	S2	月森亮輔	岡山	101期	100.22	S2	室井蓮太朗	徳島	121期	95.00
5 l	久木原洋 取鳥雄吾	埼玉	97期	101.58	S2	萩原孝之	静岡	80期	105.33	S2	鷲田幸司 片山智晴	福井	92期	101.90	S2	津村洸次郎	福岡	101期	100.40	S2	塩崎隼秀	愛媛	121期	93.65
S1		岡山		109.50	S2	伊勢崎彰大		81期	92.41	S2		岡山	92期	96.17	S2	石口慶多	兵庫	103期	92.50	S2	東矢圭吾	熊本	121期	106.40
51	小川真太郎	徳島	107期	107.18	S2	土屋裕二	静岡	81期	91.57	S2	山口貴弘	佐賀	92期	102.56	S2	坂本周作	青森	105期	100.93					

福島 109期 105.59 S2 小林圭介 茨城 83期 95.41 S2 武田憲祐 神奈川 93期 93.73 S2 菅原大也 神奈川 107期 105.56



スロスホーツ

能支・万協 阿波おどり杯争覇戦 号外版

志田 龍星 (岐阜/119期)

ビッグレースでは予選をクリアできていないが、ダービーは2着3回、高松宮記念杯では確定板入り2回と善戦している。スピードは一級品で、上位戦でも一発の魅力を秘めている。



岩泉ヨーヴァ

佐藤 友和 (岩手/88期)

高松宮記念杯の東一次予選1は新田祐、佐藤慎の北3番手だったが、最終ホームから仕掛けて勝った新田にタイヤ差まで肉薄した。最近は伸びがいいので、突っ込みには注意したい。





山口 多聞(埼玉/121期)

直近4カ月の連がらみの決まり手は 90%超が先行。やや末脚を欠いての2着が目立つが、 積極的な競走で別線を沈黙させている。一次 予選はもちろん、二次予選でも軽視できない。

地元地区推奨選手



小川 真太郎

(徳島/107期)

ここのところ切れ味が今ひと つ物足りない。中間着が目につ き、今年はまだ5勝にとどまっ ているのは不本意だろう。地元 記念で存在感を示し、浮上の きっかけをつかむか。

室井 蓮太朗

(徳島/121期)

6月松山で9連勝を達成し、 定期昇級を待たずしてS級入り。 A級戦とはいえ、前期8Vの実 績は伊達ではない。初戦が地元 記念なら燃える材料には事欠か ない。今節注目の一車だ。



